お便り

2023(令和 5)年 春号
宮内 専念寺

新年度も始まり、時の流れの早さをしみじみと感じます。死は現前。けれど、自分たちには縁遠いと思い、日々を送る。お聴聞(ちょうもん)の機会も年々少なくなっております。下記の通り、法座を執り行います。是非、お時間空けていただき、ともに聴聞いたしましょう。

仏教婦人会法座と総会

６月２１日（水）　１０：００～総会、１１時朝席 ➡ 軽食
昼席１３：００～１５：００

ご講師：竹本 憲 師（佐伯区千同 善正寺）

盆法座

８月１７日（木）　朝席１０：００～１２：００ ➡ 軽食
昼席１３：００～１５：００

ご講師：龍口 明生 師（京都市 住職の次兄）

早朝錬成会（そうちょうれんせいかい）

８月２７日（日）　７：３０～１０：００

詳細は、別紙。

秋の彼岸会（ひがんえ）

９月１９日（火）　朝席１０：００～１２：００ ➡ 軽食
昼席１３：００～１５：００

ご講師：久保田 晃裕 師（中区舟入 報恩寺）

秋の総永代経法座

１０月１１日（水）　朝席１０：００～１２：００ ➡ 軽食
昼席１３：００～１５：００

ご講師：今津 隆文 師（安佐南区西原 明福寺）

報恩講（ほうおんこう）（お取り越し）

１２月　８日（金）　昼席１３：００～１５：００
９日（土）　朝席　８：３０～１２：００

ご講師：龍口 明生 師（京都市 住職の次兄）

除夜会（じょやえ）

１２月３１日（日）　２３：３０～０：００

本堂で読経・ご法話の後、０時より除夜の鐘を撞(つ)きます。

御正忌報恩講（ごしょうき）　２０２４（令和６）年

１月１６日（火）　朝席１０：００～１２：００ ➡ 軽食
昼席１３：００～１５：００

ご講師：高橋 仁誓 師（呉市倉橋町 得蔵寺）

・降誕会（ごうたんえ）「親鸞聖人の御誕生を祝い、ご遺徳を讃える法要」
・報恩講「親鸞聖人の御命日、ご恩を偲び讃える法要」
（降誕会 5 月 21 日、報恩講 1 月 16 日）

仏婦連絡（月例会）

6月１５日（木）　８：３０～１０：３０
２１日（水）　総会と法座
7月１４日（金）　８：３０～１０：３０
8月　盆法座に兼ねる
9月１５日（金）　８：３０～１０：３０
１０月１６日（月）　８：００～１０：３０
１１月１５日（水）　８：３０～１０：３０
１２月　５日（火）　８：３０～１０：３０
（報恩講お待ち受けの掃除を中心として）
令和６年）１月１６日（火）　法座に兼ねる

～たのしく清掃･すがすがしく仏参･なごやかに茶話会～

ダーナ金報告

皆様よりのダーナ募金。3 月 31 日〆￥８８，４０５円、お預かりしました。安芸教区・佐伯西組・くさのみ作業所等へお届けいたします。ありがとうございました。又、会員さん手作りの募金箱が寺にありますので、ご利用ください。

法話　「手を合わす」ということ

皆さまは毎日の生活の中、一日何回くらい手を合わしておられるでしょうか。朝夕お仏壇の前で、食前食後に、と生活の中に手を合わす場面は多々あると思います。もちろん回数の問題ではありませんが「手を合わす」ということは私たち人間にとって本当に大切なことだな、と思います。

私は子どものころよく父に「手を合わすことを知らないものは人間ではない、畜生だ」と叱られていました。仏教にあまりなじみのない方が「畜生」という言葉を聞くとずいぶん乱暴な言葉だな、と思われるかもしれませんが、『涅槃経』には「無慚愧（罪を恥じないこころ）は名づけて人とせず、名づけて畜生とす」と説かれてあります。

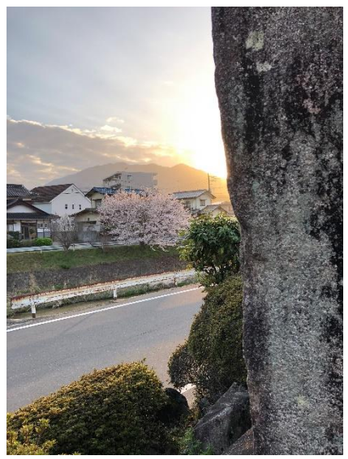
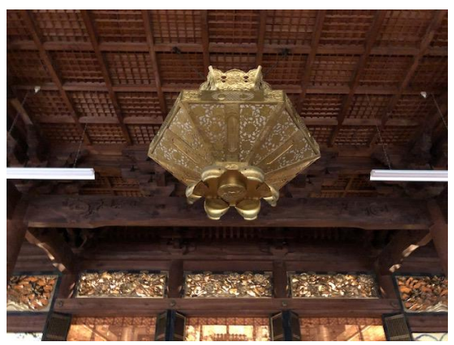
ある先生は、畜生とは「自らの生き方を振り返ることなく、生かされて生きていることも知らず、わが身がどちらを向いて生きているかもわからず、ただそのときそのとき、欲を満たすことのみに明け暮れている、そんな生き方をさして畜生というのだ」と教えて下さいます。言い換えれば、人間に生まれた甲斐がない生き方である、ということでしょう。では逆に、なぜ私たち人間にとって「手を合わす」ことが大切なのかというと、それは自らの生き方を振り返るということであり、生かされて生きていることに感謝するということであり、わが身がどちらを向いて生きているかを問い聞いていくことであるからです。

今は食前食後に「いただきます」「ごちそうさま」と手を合わす習慣のない家庭も増えているようです。またお仏壇のない家庭も増えています。最初の「一日何回くらい手を合わしていますか」という質問に対し「０」という方も少なくないのかもしれません。手を合わす習慣のない家庭に、手を合わす子どもは育ちません。そうするとこれからは手を合わすことを知らない子どもたちがどんどん増えてくるかもしれません。

即如門主は『愚の力』という本の中で、お仏壇を「振り返り」の場といただかれています。手を合わせる場所をもつというのは、生活のなかで考える場を持つということだと教えてくださいます。自らの生き方を振り返り、生かされているいのちに目覚め、そして、このいのちの方向をしっかりと問い聞かせていただき、人間に生まれた甲斐のある人生を歩ませていただきたいものです。

牛尾かおり氏　『法味愛楽２』より抜粋

初産式

赤ちゃんの誕生を祝い、仏前に奉告する行事です。
希望日時を、お寺と相談の上、ぜひご参拝ください。

○納骨堂　７月に、お仏壇をお迎えする予定です。
３月より利用を開始しております。
見学・使用懇志・利用規約などは、直接お寺までお電話下さい。